



ふれあいバスで 出かけよう

みなさんは、町が運行している「ふれあいバス」を利用したことがありますか？気持ちのいい秋晴れの季節、バスに乗ってゆっくりと窓からの景色を楽しんでみてはいかがでしょうか。

今回は、町内各地域を回っているふれあいバスを紹介します。

特派員報告

いながわ



木下 美由紀

高橋 祐子

ふれあいバスの始まり

ふれあいバス(猪名川町公共施設循環バス)は、高齢者や車を運転しない人の移動手段の確保を目的として、平成12年4月1日より運行を開始し、今年で11年目となります。運行開始当初は、バス1台で町内全域を回っていました。成13年11月より2台に増便さ

ふれあいバスの利用者

ふれあいバスの年間利用者は約2万5千人です。利用者の多くは高齢者で、ふれあいバスを通じて知り合いが増えたという声も聞かれます。なかでも、女性の利用者が多く、バス利用を楽しまれています。

乗降が多い停留所は、ゆーあいセンター・日生中央・イオン猪名川ショッピングセンターなどで、入浴やお買い物、通院やお見舞いなどに利用する人が多いようです。なかには、ゆーあいセンターで入浴後、ショッピングセンターでお買い物など2力所以上を組み合わせて、上手に活用している人もいます。

ふれあいバスの魅力

ふれあいバスの利点は、町内の全地域に点在するきめ細かな停留所です。現在の停留所の数は約140カ所あり、町内の公共施設などでは、施設敷地内に停留所があり大変便利です。

また、町内外・年齢に関係なく誰でも乗車可能で、運賃も低価格です。大人200円・小人100円を上限としています。町内在住の70歳以上の人と身体・知的・精神障がいの手帳保持者は無料で利用することが出来ます(すこやかカードおよび障害者手帳の提示が必要です)。

運転手さんのお話

向井正好さん(阪急バス社員)

安全で快適にご利用いただけるよう心がけ、バスの動きや乗り降りに応じてマイクを極力活用し、お声かけをしています。乗客から「ありがとうございました」と降りるときに声をかけていただく瞬間が一番うれしいです。「こちらこそ、ご乗車ありがとうございます」と思います。新興住宅地と古くからの地域の人が車内で親交を深める場面をよく見かけます。両地域の人々の出会いの場になっているようです。

路線バスが走らないところも走ります(名所「銀山」など)。走行スケジュールも余裕を持たせているのでゆったりとお乗りいただけます。車窓の四季折々の風景も美しく、景色を楽しみに大阪から乗りにくるファンもいます。たくさんのご乗車をお待ちしています。

利用者の声

もちろん、車椅子での乗車も可能で、ステップリフトで車椅子に乗ったまま乗降できます。

このように、ふれあいバスは「乗る人すべてにやさしいバス」をテーマに運行しています。今後も便利に利用できるように、みんなで考えて意見を出し、もっと上手に活用していきたいですね。

後編 記集



気が向いた日の朝、おにぎりと本持参で、ふるさと館まで乗ったりします。ふれあいバスならではのふんわり優しい車内の雰囲気や、美しい景色が好きです。

路線には秋のレジャースポットも多く含まれます。ハイクキングで人気の「銀山」はそのひとつ。片道は歩き、片道はふれあいバス、などいかがでしょうか。

いつも別の手段で行く所、行ったことがない所へも、ふれあいバスで行ってみましょう。たくさんの発見、新鮮な気持ちがあるのを待っています。

川西市民病院行きバス試験運行中 ～通院、お見舞いにどうぞ！～

ふれあいバスとは別の車体で12月末までの月曜日から金曜日、日生中央と川西市民病院の間を1日8往復しています。利用者は車を運転しない人が多く、これまで「日生中央駅から電車に乗り山下駅で下車し、病院まで歩く」か「路線バスやタクシーに乗る」、「運転できる家族に車で送迎してもらう」などでしたが、このバスは便利で運賃も安いと、評判は上々です。



北部1コース	北部2コース	南部1コース	南部2コース
奥猪名健康の郷～日生中央 【月・水・金曜日のみ運行】 奥猪名健康の郷～鎌倉～旭ヶ丘上～ふるさと館～社会福祉会館～イナホール前～猪名川町役場～紫合～消防本部前～日生中央	柏原～日生中央 【火・木・土曜日のみ運行】 柏原～杉生～旭ヶ丘上～ふるさと館～横並仁部上～社会福祉会館～イナホール前～猪名川町役場～紫合～消防本部前～日生中央	千軒～ふるさと館 【火・木・土曜日のみ運行】 千軒～消防本部前～日生中央～松尾台～猪名川町役場～銀山公会堂前～白金～イナホール前～社会福祉会館～ふるさと館	内馬場～ふるさと館 【水・金・日曜日のみ運行】 内馬場～日生中央～伏見池公園前～猪名川町役場～差組橋～つつじが丘～猪名川町役場前～パークプラザ前～イナホール前～ふるさと館

